

## シドニー派遣を終えて

名古屋市立山田高等学校 2年 田中佐知

### 1. 私の研修の目標

私は将来、海外と繋がる仕事に就きたいと考えています。その為、今回の海外派遣において日常の習慣の違いや異文化などを学ぶと共に、現地の高校生やホストファミリーと積極的にコミュニケーションをとり話せる英会話を学ぶこと、また、現地で学ぶだけでなく、日本や名古屋市についての異文化を伝えることを目標としました。

### 2. 事前の準備

事前研修では、日本や名古屋市の食文化や行事について、英語でプレゼンテーションを行い、派遣団で共有しました。私は、食べ物が好きなので「名古屋めし」について話しました。「名古屋めし」について調べていくうちに、自分の知識もより深いものとなりました。

また、英語に対しての自信が全く無く、とても不安だった為、個人的に英会話の授業を受け、会話の中で使える単語や文章を勉強しました。

### 3. シドニーでの体験

私が一番印象に残っているのは、体験入学です。ほとんどの授業が英語で行われるので、会話を聞き取ること、授業へついていくことがとても大変でした。分からない単語も多く、理解するのにとても時間がかかりましたが、現地の高校生や中学生の方が、とても優しく教えてくれたので、コミュニケーションをとりながら理解することが出来ました。特に、授業の受け方が日本と違うことにとても驚きました。現地の学校では、一人一人がパソコンを使いながら授業を受けています。もちろんノートを使う授業もありますが、少ないです。また、許可されている範囲で、授業中の飲食やイヤホンやヘッドホンで音楽を聴くことが許されている授業もありました。

ホストファミリーと過ごした数日間も貴重な体験となりました。お土産に持参した箸の使い方や

「名古屋めし」について話したり、と日本のことを伝えながら、温かく受け入れていただきました。

## 4. 研修の成果と今後の課題

### <成果>

ブルーマウンテンズグラマースクールでは、日本語授業とウエルカムパーティーにおいて書道を行い、日本の文化を披露しました。個人的な成果としては、現地の方と積極的に話すことが出来るようになったことです。はじめは自信がなく消極的になってしまい、うまくコミュニケーションをとることが出来ませんでした。しかし現地の方が私の伝えたいことを一生懸命理解しようとしてくれたり、時には会話の中で間違った文章などがあった場合に、優しく正しい文章を教えてくれるなどの中で、徐々に積極的に話すことが出来るようになりました。また、分からない時は黙るのではなく、積極的に伝えようとする気持ちが大切だと学びました。

### <課題>

私は今回の海外派遣を通して、異文化交流について興味が深まりました。オーストラリアは勿論のこと、今後は他の国についても学び、世界各国が今どういった状況にあるのかなどを詳しく調べた上で、海外の多くの人と関わっていきたいと思います。その為には、更に英語のスキルアップとコミュニケーション能力の向上を引き続き自分の目標として学んでいきます。また、来年は姉妹校であるブルーマウンテンズグラマースクールの生徒の来校が予定されています。その際、ホストとして活動できるようこれからも自分自身の向上に努めていきます。



BMGS での日本語の授業風景